

高校生地域の将来に意見

由利本荘 市議とワークショップ

由利本荘市の高校生と市議り合つイベントが5日、市文
が市の将来像などについて語 化交流館カダーレで開かれ



ワークショップで出し合っ
た意見を発表する高校生

た。高校生22人と市議21人が
参加。ワークショップを通じ、
よりよい地域づくりや若者が
暮らしやすいと思える環境整
備の在り方を考えた。

市議会が主催し、今年で5
回目。今回は西目、由利工、
本荘、矢島、由利の各高校の
生徒たちが「希望をかなえ、
自分らしく暮らすまちづく
り」をテーマに市議と意見交
換した。生徒たちは九つの班
に分かれ、「公共交通」「豊

かな暮らし」「娯楽施設」な
どに関する市の現状や課題を
付箋に書き出し、解決策を考
えた。

最後に行われた全体会で
は、市議との意見交換の概要
を一枚の模造紙にまとめ「若
者がめっちゃ楽しい由利本荘
市」「若者と高齢者が笑顔に
なれる未来」などとタイトル
を付けて理想とする市の将来
像を発表。生徒たちは公共交
通の維持に関し「電車に乗っ
たらラーメンが安くなる仕組
みをつくってはどうか」、安
心できるまちづくりに向けて
は「クマを見つけたら追いか
けるドローンがあればいいと

思う」といった意見が出たこ
とを紹介した。

参加した由利工2年の阿部
龍陽さん(17)は「市議と話す
ことは普段はないのでいい経
験になった。市のいいところ
や課題について、他の人の意
見を聞いたり、自分で改めて
考えたりする機会になってよ
かった」と話した。

佐藤健司議長は「高校生が
普段考えていることを知るこ
とが重要だと考えている。市
政に反映できるよう今後につ
なげていきたい。高校生には
これからも自分の意見をどん
どん発信してほしい」と総括
した。

(相沢一浩)